

野辺地地区保護司会

会報 のへじ

野辺地地区保護司会 野辺地地区更生保護サポートセンター  
〒039-3112 青森県上北郡野辺地町字中道20-1 野辺地町青少年体育センター内  
TEL.0175-64-5234 FAX.0175-64-5234

2016 .1.1

創刊号



人はみな、  
生かされて  
生きていく。



会報発刊にあたって

野辺地地区保護司会  
会長 木明昭一郎

あけましておめでとうございます。

野辺地地区保護司会会員始め更生保護活動に関わっておられる皆様には穏やかな新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

ご承知のように当保護区は、4町1村(町村支部制)で構成する広範囲な地域ですが、昭和25年10月野辺地地区保護司会設立以来、多くの方々のご理解とご協力をいただき、様々な課題等があるなかで、今日まで社会内処遇及び犯罪予防活動を中心に更生保護活動を進めて参りました。

保護司(組織)として行う活動を効率よく行うため

にも活動拠点が求められておりました時に、野辺地町当局のご理解をいただき、公共施設内に「野辺地地区更生保護サポートセンター」を開所することができました。そして、これまで以上に、地域社会の理解と協力を得るためにも広報活動の充実が必要であることから、この度の発刊となりました。

会報発刊にあたり、資料等の収集に当たられた役員及び支部事務局の皆様には深く感謝申し上げて発刊のことばといたします。



更生保護サポートセンター開所

平成27年9月1日野辺地町青少年体育センター内に「野辺地地区更生保護サポートセンター」が開所しました。この施設は平成20年度から法務省が推進している事業で、保護司の活動拠点として県内6番目に指定されました。青森保護観察所長から指名された18名の企画調整保護司が施設に配置されています。

9月11日には開所式があり関係者約50名が出席しました。野辺地町青少年体育センター内アリーナで開催され、木明昭一郎地区保護司会長の挨拶に続き、辻博勝青森保護観察所長、中谷純逸野辺地町長、天内修青森県保護司会連合会長らの開設に伴う期待を寄せるお祝いのメッセージが述べられ、指名された18名の企画調整保護司に青森保護観察所長から辞令が交付され式が終了しました。



企画調整保護司へ 辞令交付



浅利野辺地町教育長 木明地区会長 中谷野辺地町長  
辻青森保護観察所長 天内県保護司会連合会長 角田警察署次長



木明地区保護司会会長



辻青森保護観察所長



中谷野辺地町長



天内県保護司会連合会長

## サポートセンターの機能と企画調整保護司の役割

### (1) 保護司、生活環境の調整と処遇活動に対する支援

- ア 面接場所の提供
- イ 新任保護司を始めとする保護司の処遇活動に関する相談への対応
- ウ 保護司同士による処遇協議、情報交換の企画・運営
- エ 協力雇用主の確保

### (2) 地域の関係機関・団体との連携の推進

- ア 保護司の処遇活動に資する地域の関係機関・団体に関する情報の収集及び保護司への提供
- イ 地域の関係機関・団体との処遇協議、情報交換の企画・運営

### (3) 地域に根ざした犯罪・非行予防活動の推進

- ア 犯罪や非行に関する地域住民等の相談への対応
- イ 地域住民を対象とした非行防止セミナー・薬物乱用防止セミナー等の企画・運営

### (4) 更生保護関係団体との連携の推進

- ア 更生保護関係団体と連携した社会貢献活動、社会参加活動及びグループワーク等の各種企画・運営
- イ 更生保護関係団体の各種活動・研修等への支援

### (5) 地域への更生保護活動への情報提供

- ア 更生保護や保護司(会)活動に関する情報の発信
- イ 関係機関・団体への派遣、広報資材の貸出し

### (6) 保護司会の運営

- ア 保護司会の運営に関する事務
- イ 役員会・機能別部会への支援

### (7) その他更生保護に関する活動の実施

## 企画調整保護司一覧

NO	氏名	所属支部	備考	NO	氏名	所属支部	備考
1	木明昭一郎	野辺地町	センター長	10	浅野 伸悦	野辺地町	
2	藤谷 松男	七戸町	副センター長	11	葛原 隆男	七戸町	
3	蛭名 敏彦	東北町	副センター長	12	楠 フミエ	七戸町	
4	和泉 順生	横浜町	副センター長	13	鳥谷部俊悦	東北町	
5	築田 成義	六ヶ所村	副センター長	14	遼 和子	東北町	
6	曾田 秀夫	野辺地町		15	鎌田登美子	横浜町	
7	金澤 文子	野辺地町		16	沼口 博喜	横浜町	
8	吉原 有三	野辺地町		17	能登甚五郎	六ヶ所村	
9	四戸 巧	野辺地町		18	築田 信義	六ヶ所村	

サポートセンター利用状況及び会議等開催状況 (単位:人)  
 ~平成27年9月1日~同年12月31日~

月(開所日数)		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考
来所者		(18)	(21)	(19)	(19)					
1	駐在延人数	54	59	58	32					
2	地区保護司会会員	58	25	31	22					
3	青森保護観察所	3		2						
4	更生保護女性会	3	1	1						
5	行政機関・関係機関	23	1	2	5					
6	地域住民	17	10	2	5					

会議等開催状況 (単位:人)

月(開所日数)		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考
来所者		(18)	(21)	(19)	(19)					
1	開所式	57								
2	地区三役会議	7	7		8					
3	対象者・家族面接		4		4					
4	地区定例研修会	31								
5	保護司候補者検討協議会			12						
6	支部処遇会議	12	9	12	7					
7	事務局会議	4								

平成27年度 第65回“社会を明るくする運動”各町村支部の活動状況

写真で見る活動状況 内閣総理大臣・県知事メッセージ伝達式・啓発活動等





## 第29回東北地方 更生保護大会に参加して

六ヶ所村 葛西 満

10月24日、山形県天童市市民文化会館にて開催されました。10時総会、次に「さらば、哀しみの青春・・・夜回り先生、いのちの授業」と題して、花園大学客員教授、水谷修氏の講演、高校教員の体験を通しての中高校生の非行防止、更生に取り組むことの重要性力説、時間を忘れるような熱弁でした。

清興は、国指定重要無形民俗文化財「林家舞楽」がおごそかに演じられました。午後は式典、顕彰が行われ受賞者のはればれした姿に盛大なる拍手で祝いました。最後に大会宣言文を発表、万歳三唱が行われ無事終了しました。

将棋の町、天童市への道のは遠かったです。28日午前8時、四戸さんの車で5人で出発、七戸町にて1人乗車、6人参加でした。高速道で南下、長者原での昼食は會田さんの計らいで美味しくいただきました。

松尾芭蕉の句「閑さや岩にしみ入る蟬の声」で有名な名勝史跡山寺立石寺「一千百有余年前、貞観2年(860)12月、第56代清和天皇の勅命うけ天台宗の慈覚大師が開山」に参拝、御朱印を手帳に納めました。一度は参拝したいと思っていました山寺、お堂と階段が多く、広大なることに驚きました。10分も歩かないうちに足が疲れてきました。

時々周りをみるふりして休みながらゆっくりと階段を上がりました。周りの人々は元気なのにと気をもんだ。不思議に、かろうじて通れる狭い道四寸道(行者道)を超えた体が楽になり、一番高いところの開山堂を拝し、最後の五大堂に上り、山寺の景観と眼下の集落の眺めは、素晴らしいと感じました。いつまでも記憶に残ると思います。また、夕食前に天童市将棋資料館も見学した。



山形県で東北大会があるので参加しないか、会議や研修も欠席が多いのに折角の誘い、最後の御奉公のつもりでの参加でしたが良かったです。

山寺への参拝、大会の講演、受賞者の晴れ姿等、見納めになるでしょう。

平成2年5月保護司拝命、平成28年2月喜寿となり任期満了、25年間お世話になりました。今後の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。有難うございました。

平成2年5月保護司拝命、平成28年2月喜寿となり任期満了、25年間お世話になりました。今後の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。有難うございました。

### 編集後記

この度懸案であった地区保護司会の会報を発行することとなり、各支部のご協力を頂き創刊号を発行することができました。今後年3回程度の発行を予定しておりますので、関係機関及び関係者の皆様方のご寄稿等にご協力とご支援をお願い申し上げます。

編集担当 藤谷 松 男



支部長及び支部事務担当による編集会議